

2024 年 7 月 22 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【ゴム製品】他社牽制力ランキング 2023

トップ 3 はブリヂストン、住友ゴム工業、横浜ゴム

弊社はこのほど「ゴム製品業界」の特許を対象に、2023 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別※に集計した「ゴム製品業界他社牽制力ランキング 2023」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2023 年に最も引用された企業は、1 位 **ブリヂストン**、2 位 **住友ゴム工業**、3 位 **横浜ゴム**となりました。

【ゴム製品業界 他社牽制力ランキング 2023 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	ブリヂストン	760
2位	住友ゴム工業	564
3位	横浜ゴム	490
4位	TOYO TIRE	239
5位	住友理工	234
6位	バンドー化学	107
7位	ニッタ	82
8位	MICHELIN (仏)	68
9位	三ツ星ベルト	58
10位	THE GOODYEAR TIRE & RUBBER (米)	42

※ 当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2023 年 12 月までに公開された全特許のうち、2023 年 1 月～12 月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2024 年 5 月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **ブリヂストン**の最も引用された特許は「部材や形状の選択の幅を広げられる非空気入りタイヤ」に関する技術で、TOYO TIREや住友ゴム工業など計4件の審査過程で引用されています。このほかには「コンベアベルト用ゴム組成物」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、横浜ゴムの計4件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、ブリヂストンの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は住友ゴム工業(120件)、次いで横浜ゴム(91件)となっています。

2位 **住友ゴム工業**の最も引用された特許は「クッション性の調整が容易な三次元構造物」に関する技術で、ECCO SKO(デンマーク)などの計5件の審査過程で引用されています。このほか「防舷材用ゴム組成物」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、横浜ゴムなどの計4件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、住友ゴム工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は横浜ゴム(85件)、次いでブリヂストン(68件)です。

3位 **横浜ゴム**の最も引用された特許は「有機充填剤として利用可能な高分子微粒子」に関する技術で、住友ゴム工業や旭化成など計5件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2023年に、横浜ゴムの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は住友ゴム工業(100件)、次いでブリヂストン(68件)となっています。

4位 **TOYO TIRE**は「経年変化性を改善できる樹脂配合ゴム組成物を用いたタイヤ用ゴム組成物」、5位 **住友理工**は「異方性導電膜およびその製造方法」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【ゴム製品業界 他社牽制力ランキング 2023データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データー式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ランキング トップ30社：本業界の被引用件数上位30社のランキング
- ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円(税抜)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp